

児童通所支援事業所 あいらいん
児童発達支援 事業所自己評価表(公表)

公表：令和3年2月25日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、 課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・学校等の長期休暇期間中を除く	・身体を動かす活動等では、室内では狭く感じてしまう。今後も広いスペースが確保できる場所の検討を続け、確保できるよう努めます。
	②	職員の配置数は適切であるか	○		・利用者の人数にもよるが、少ない足りないと感じる日もある。 ・学校等の長期休暇期間中を除く。 ・職員の休みが重なった場合の調整を行ってほしい。 ・目が届かない時がある。曜日や時間帯による。 ・曜日より足りないと思う時があるし、余ると思う時もある。	・基本配置の職員数以上に配置はしているが、利用児童の状態に応じて、職員配置は検討する必要がある。今後、利用児童が安心して支援を受けることができるように努めます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・床にフロアマットを敷き、安心して活動ができるようにしている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・活動終了後、清掃を行っている。 ・限られた空間を工夫して使っている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・毎日の活動の振り返りを行い、情報の共有をしている。 ・職員会議に全員参加するようにしてもいいのではないかな。	・職員会議には、全員が参加できるようにし、いろいろな委員会を設置し、担当職員を配置し、改善に取り組むことができるように努めます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・評価の結果、改善の内容等を事業所内に掲示している。	・評価の結果を事業所掲示及び、ホームページ等に掲載しています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・第三者委員会の設置を検討していきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・施設外の研修に参加した職員が会議や毎日の振り返りで、適宜、報告している。	

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・支援計画について話し合いの機会がなく全職員で共有できていない。	・計画作成時、全職員で支援計画及び支援内容の共有ができるように努めます。また、具体的な支援方法等についても、計画作成後の会議等により把握できるよう努めます。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・工夫で来ていると思う。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		・集団活動が主であるが、状況に応じて臨機応変に対応している。 ・集団での活動の為、個別支援は難しい。 ・個別はよく分からない。	・基本的に集団活動での支援を主としているため、別途個別活動を設定はしていないが、集団の中でも個別対応が必要な場面等も想定しながら支援計画は作成するよう努めています。また、職員間で計画作成の内容の把握に差があるため、全ての職員が共通理解することができるように努めます。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・朝礼で確認、共有している。 ・朝礼時に行われている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	○		・毎日、ひとりひとりの振り返りと活動全体の振り返りを行い、次に活かしている。 ・毎日振り返りができていると思う。	・利用児童に対しての振り返りだけでなく、職員自身のその日の支援についても振り返りを行い、良かった点、改善すべき点を共有し、より良い支援を行うことができるよう努めます。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○				

関係機関や保護者との連携

⑲	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・職員数が限られているため、実際に支援にかかわっている職員が参加できていない。	・児童発達支援管理責任者が参加しているが、今後は、直接支援を行っている職員も参加することができるよう努めます。
⑳	母子保健や子供・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・相談員や他事業所、園と連携を取っている。	
㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			
㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子供の主治医や協力医療機関等と連携体制を整えている	○		・看護師が配置されており、家族を通して連携している。 ・協力医療機関がある。 ・母親を通して。	・保護者に確認を行い、主治医と直接ではなく、保護者を介し連携を行うことができるように努めています。
㉓	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・送迎時、できる時は様子を聞いたり、聞かれたりしているが、その時々であり、担任の先生と会えないこともある。 ・送迎時に話し、情報共有している。	・現在の利用児童の様子等、送迎時に伝達している。また、モニタリング等の時にも情報共有できるように努めています。
㉔	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
㉕	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
㉖	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○			・今後の課題として、取り組んでいくことができるよう検討を重ねていきます。
㉗	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		・今年度は、新型コロナウイルスの影響で、開催されることがほとんどなかった。	・今年度は、新型コロナウイルスの影響で、参加する機会が減っていた。今後は、オンラインでの参加等、積極に行っていきたい。
㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・連絡帳や送迎時に伝えている。 ・連絡帳、電話で伝えている。	

	③① 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		・現状、しっかりとしたペアレントトレーニングができていないと考えられないため、今後、研修等にも参加し、必要に応じて、ペアレントトレーニングを実施していくことができるよう努めます。
保護者への説明責任等	③② 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時等に行っている。	
	③③ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	③④ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・連絡帳や送迎時に話を聞いている。 ・必要に応じて対応している。	
	③⑤ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		・今年度は、新型コロナウイルスの影響で、開催することができなかったが、今後は、感染症等に注意しつつ、どのような形で開催することができるか検討し、保護者同士の連携等の支援ができるように努めます。
	③⑥ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	③⑦ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			・活動の予定や行事については毎月発行することができていたが、定期的な会報(おたより)等の発行ができていなかった。会報等も定期的に発行ができるように努めます。
	③⑧ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	③⑨ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			・近くの商店(パン屋さん)に行事の時に掛けた。今後も続けていけたらよいと思う。	

非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を行っている	○			
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・行っているが、利用児の参加はない。	・利用児も参加することができるよう、職員で話し合い、実施していきます。
	④3	事前に、予防接種やてんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・食物アレルギーの子がいない。 ・該当なし	・現状、食物アレルギーの児童がいないため、対応はありません。対象児童が利用した場合には、医師の指示書に基づく対応ができるように努めます。
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			
	④6	虐待を防止するため、職員の研修の機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		・該当なし	